

個別事業費	514 千円
交付金額	257 千円

地域の実情と課題

横浜市「男女共同参画に関する市民意識調査」(R4)によると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についての意識は、「反対」が63.8%、「賛成」が26.0%と依然として性別役割分担意識は根強く残っている。また、共働き世帯における平日の家事・育児・介護に費やす時間をみると男性と女性の割合は約1対3となっており、家事育児の負担は女性に偏っている。

目的・目標

性別役割分担意識やジェンダーバイアス等のジェンダー問題の理解促進を図るため、ジェンダーについて考え、気づきを促すワークショップ「ジェンダーすごろく」の体験研修を実施し、担い手育成を行う。

【目標値】ワークショップ開催回数 3回

事業の特徴

すごろくを活用することにより、様々な世代の人と対話を深め、ジェンダーについて考え、気づきを促すことができるワークである。①地域防災拠点運営委員②地域子育て支援拠点等のスタッフ③職員④市民活動団体に行い、地域でのジェンダー理解促進に向け、担い手を広げた。

連携団体

- ・一般社団法人ラシク045
(ワークショップ開発・実施、担い手育成)

事業の効果

地域子育て支援拠点等のスタッフからは、「ジェンダーについてという固いテーマでも、手法によっては知らない人同士でこんなに盛り上がれるとは驚きだった」等の声があった。区職員からは「実際の場面で使ってみたい」等の声があった。区では、すごろくの案を作り、事業での活用方法を検討することができた。

【実績】ワークショップ開催回数 4回

今後の課題

様々な分野の事業で活用されるよう、引き続きジェンダーすごろくワークを広め、働きかけていくとともに、今後の拡がりに対応するために、担い手の数を増やし、ファシリテーターの力量に頼らずとも対話が深まっていくワーク作りに整えていく必要がある。

事業の概要

●地域防災拠点運営委員向け

会場：元街小学校（中区）

参加者数：13人

実施内容：すごろくワークのポイント
ジェンダー防災すごろくワーク体験



●子育て支援拠点等スタッフ向け

会場：神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ

参加者数：15人

実施内容：ジェンダーすごろくワーク体験、
すごろくワーク作成のポイント



●区職員（金沢区防災拠点参与）向け

会場：金沢区役所

参加者数：23人

実施内容：防災版ジェンダーすごろくワーク体験
わかち合いタイム 等



●市民活動団体向け

会場：横浜市市民協働推進センター スペースA・B

参加者数：21人

実施内容：ジェンダーすごろくワーク体験
すごろくワーク作成のポイント 等

